



ゆすはら町議会だより

第121号

[令和4年10月20日発行]

四十源流

[題字] 議長 市川 岩龜

- 約99億4千万円 令和3年度各会計決算を認定!
- 議会の活動が3分でわかる! 9月定例会 クローズUP



議会の活動が3分でわかる!

9月定例会 クローズUP

[開催期間] 2022年9月5(月)~9(金)

約99億4千万円 令和3年度各会計決算を認定!

代表監査委員から決算審査意見の報告があり、その後の審査を経て、採決の結果全員一致で認定した。

P3
中越 計清
西川 慶男
西川 慶男
町民税の滞納者 の傾向は?

P5
下元 秀俊
西川 豊正
西川 豊正
若者定住 における空き家改修や雇用の場の状況は?

住宅の耐震診断 の実績は?

企業支援事業 をもつと積極的に伴走を!

街路灯設置委託事業 をしつかりと事業者に

コロナ対策事業交付金 をしつかりと事業者に

集落活動センター 推進事業交付金の有効な活用を!

遊休ハウス の再利用補助金の推奨を

奨学資金貸付金 の活用状況は?

街路灯設置委託事業 は要望を満たせているか

遊休ハウス の再利用補助金の推奨を

奨学資金貸付金 の活用状況は?

街路灯設置委託事業 はできるだけ転入手続きを!

P14
議場 こうして はして 作られる

P8

一般質問

ここが聞きたい

P12

9月定例会 議案審議の概要

一般会計補正予算（第2号）
財産の取得について ほか

私は ○× です

P11 議案一覧と議員賛否状況

表紙写真の紹介

梼原産ワインとなるブドウを収穫する梼原高校農業コース生徒

令和2年から西路住吉の圃場で作付けしているブドウは今年は約3,000kgが収穫され井上ワイナリー（株）に出荷されている。梼原高校生のデザインしたワインボトルの計画もあり一般販売されるのが待ち遠しい。

診療所

歯科診療所の移転について



建て替え工事に伴い西町に仮設の歯科診療所を整備し、9月1日より診療を再開した。

環境整備課

町内一斉清掃・町内河川清掃について



6/19、7/24の日程で住民の皆さんの協力により町内一斉に清掃作業を行った。

保健福祉課

新型コロナウイルスワクチン接種について

7月	8月	合計
965人	456人	1,421人

4回目の接種を実施。60歳以上と60歳未満で18歳以上の基礎疾患を有する方を対象に9月末まで実施予定。

企画財政課

太郎川公園再生計画について



課題やアイデアを町民と共に考え創っていく公園とするため町内各所で意見交換を行った。

町長は、令和4年6月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。（抜粋）

行
政
報
告

令和3年度
会計決算
(議案審議)

一般会計

特別会計

病院会計

令和3年度各会計決算を認定！**総額99億4千214万2千940円**

地域外医療機関の利用による流出等も影響していると考えられる。

決算状況を見ると、四万川、松原の2診療所を

決算審査

令和3年度各会計歳入歳出決算は、全会計併せて99億4千214万2千940円（重複計上含む）にのぼり、総務教育厚生常任委員会に付託し産業建設

常任委員会との連合審査を行つた。

審査では、代表監査委員から決算審査意見の報告があり、その後、会計ごとに審査を行つた。

審査では、代表監査委員から決算審査意見の報告があり、その後、会計ごとに審査を行つた。

監査委員審査所見

○**基金について**
各種基金積立額合計は

約95億558万円で昨年度と比較して約1億8千339万円の増額、また地方債残高は約94億5千585万円となっており、昨年度から約4億2千646万円増額となつてゐる。

地方交付税については、地方交付税法定率分が当初見込みに比べ増額となつた。また、これまでの本町の取り組みが評価され脱炭素先行地域に採択されるなど、今後の財源確保への努力は評価できる。今後更に将来を見据えた対応と、国・県の動向を注視し財源の確保に努められたい。将来への計画的な基盤の活用も視野に入れ、バランスのとれた予算執行をする必要がある。

○病院事業について

病院事業について、令和3年度決算においては、入院患者数は対前年度比478人減の5千15人、外来患者数については、対前年度比1千492人減の2万4千553人となつてゐる。入院患者数及び外来患者数の減少については、新型コロナウイルス感染症への対応として薬剤の3か月処方や電話再診を行つたことなどによる影響がある他、医療圏域の人口減少、

事業費増により昨年比は、地方交付税については、バランスのとれた予算執行をする必要がある。



決算審査報告を行う代表監査委員の中越拓平氏

委員会審査報告(抜粋)

歳出決算額については、目的に添い、有効かつ効率的な事業展開をしているということ、

さらに、その財源確保へ向けた最善の取り組みができるといふことが判断できる決算になつてゐる。しかし、脆弱な自主財源力であるということとは変わりなく、

ため総務教育厚生常任委員会では、全会一致をもつて「認定」すべきものと決定した。

今後も、引き続き国・県の動向に留意され補助金等をはじめとする歳入の確保に努めていく必要がある。

今回の総務教育厚生常任委員会主催の決算連合審査については、監査委員の意見を参考に慎重に審議を行つたところであるが、

まちづくりの諸施策の充実を通じて地域住民に愛される医療機関として医療を提供できるよう引き続き健

全な運営に努められたい。

町民の生活を大切にする町民の生活を大切にするため総務教育厚生常任委員会では、全会一致をもつて「認定」すべきものと決定した。



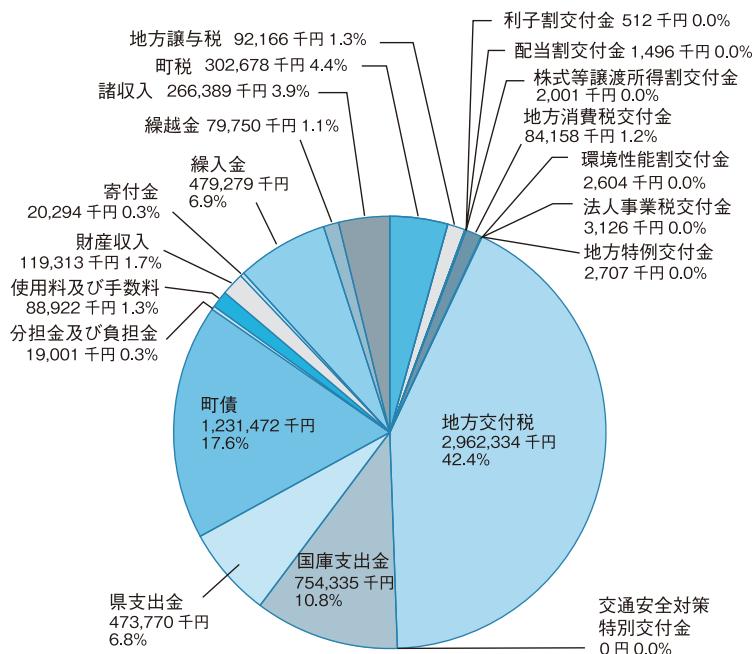
令和3年度一般会計歳入歳出決算額一覧

歳入決算額

(単位：千円、%)

款名	歳入決算額	構成比
町税	302,678	4.4%
地方譲与税	92,166	1.3%
利子割交付金	512	0.0%
配当割交付金	1,496	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	2,001	0.0%
法人事業税交付金	3,126	0.0%
地方消費税交付金	84,158	1.2%
環境性能割交付金	2,604	0.0%
地方特例交付金	2,707	0.0%
地方交付税	2,962,334	42.4%
交通安全対策特別交付金	0	0.0%
国庫支出金	754,335	10.8%
県支出金	473,770	6.8%
町債	1,231,472	17.6%
分担金及び負担金	19,001	0.3%
使用料及び手数料	88,922	1.3%
財産収入	119,313	1.7%
寄付金	20,294	0.3%
繰入金	479,279	6.9%
繰越金	79,750	1.1%
諸収入	266,389	3.9%
歳入合計	6,986,307	100.0%

歳入の状況

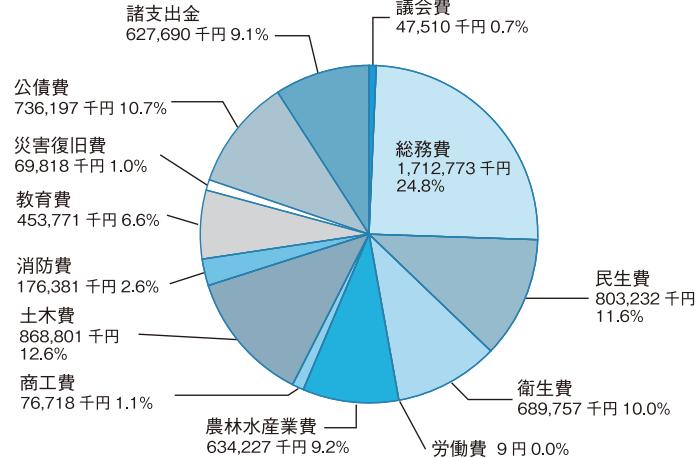


目的別歳出

(単位：千円、%)

款名	歳出決算額	構成比
議会費	47,510	0.7%
総務費	1,712,773	24.8%
民生費	803,232	11.6%
衛生費	689,757	10.0%
労働費	9	0.0%
農林水産業費	634,227	9.2%
商工費	76,718	1.1%
土木費	868,801	12.6%
消防費	176,381	2.6%
教育費	453,771	6.6%
災害復旧費	69,818	1.0%
公債費	736,197	10.7%
諸支出金	627,690	9.1%
歳出合計	6,896,884	100.0%

目的別歳出の状況

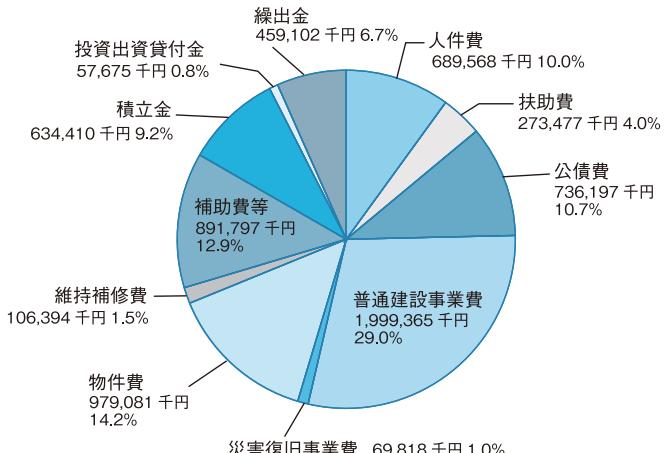


性質別歳出

(単位：千円、%)

款名	歳出決算額	構成比
人件費	689,568	10.0%
扶助費	273,477	4.0%
公債費	736,197	10.7%
普通建設事業費	1,999,365	29.0%
災害復旧事業費	69,818	1.0%
物件費	979,081	14.2%
維持補修費	106,394	1.5%
補助費等	891,797	12.9%
積立金	634,410	9.2%
投資出資貸付金	57,675	0.8%
繰出金	459,102	6.7%
歳出合計	6,896,884	100.0%

性質別歳出の状況



令和3年度 決算連合審査での質疑（抜粋）

～意見、質疑を今後に生かして～



一般会計(歳出)について

若者定住対策について

西川 慶男

町民税の滞納について

中越 計清

まだまだ住宅が足りないという若者や移住者の声を聞くが、若者・移住定住対策の現状をきく。

税は公平公正に期限まで

に徴収するのが原則。納税額によって、地域、部落へ交付する地域活性化補助金の額にも関わってくるので、滞納者への徴収を徹底すべきである。

A 総務課長

経済等の理由で若干滞納者が出てきているが、以前は滞納されていた方が納税誓約書によりお支払いいただいている状況もある。差し押さえもして努力している。今後も高幅の租税債権管理機構の協力要請もしながら、一層の滞納税の縮小に努めてまいりたい。

今後改修予定の空き家

西川 慶男

定住対策の現状をきく。

A まちづくり推進課長

住宅整備が充分でないことは承知している。今年4棟の空き家を整備予定。今後においては空き家バンク制度の整備を行っている。

A 西川 慶男

町内の耐震診断の現状をきく

A 総務課長

令和3年度の耐震診断7件（繰越含）で、耐震設計11件、耐震工事は4件実施している。令和4年度は耐震診断5件、耐震設計6件、耐震工事7件を予定している。

今後空き家改修を開始してから10年目を迎える家がでてくる。家主が帰つて来られない場合など、その対策についての仕組みづくりを行っている。

今後改修予定の空き家

西川 慶男

移住・定住、空き家活用への取り組みは？

企業支援事業について

Q 下元 秀俊



西川 慶男議員

補助事業の導入に、相方の理解不足から誤解が生じ利用できないという事例があった。担当課として申請者と十分なコミュニケーションをとつて伴走することが必要ではないか。

A 産業振興課長

対応が後手に回ることがないように今後より一層足を運んでしつかり支援しながら柔軟に対応していく。

集活事業補助金・
交付金について



集活センター西で整備したジビエの残渣用小型焼却炉

Q 西川 豊正

町内6つの地域を中心に行う様々な事業や活動について、集落活動センター推進事業費交付金を活用しながら必要な支援や情報提供を強力に抜かりなく行ってほしい。

A まちづくり推進課長

今年度は集落活動センターおちめんの風呂釜の整備やししまる味噌のパッケージ用カップシーラー購入

住民の皆さんに広く制度の周知をし、困っている事業者の皆さんが救われるよう取り組みを行うよう常々担当課と協議をしている。今後もしっかりと取り組んでいく。

部落代表さんを通じて毎年要望を聞いています。予算の範囲内で優先順位を付けて適宜対応をしているが、今後要望等あれば教えていただきたい。

の補助、太田戸のアメゴの養殖場の整備、集落活動センター西はジビエ残渣の小型焼却炉整備等への補助他

で2千551万5千円を補助させていただいている。今後も集落活動センターが自立に向けて取り組んでいけるよう、協議や連携をしながら伴走していく。

中越 計清議員

街路灯整備の
事業展開を問う



Q 西川 豊正

新規就農者や規模拡大等への起爆剤となる遊休ハウス再利用補助金は、大変有意義な補助金である。市場出荷用雨よけハウスの再利用も推奨してはどうか。

町内街路灯の設置について

Q 中越 計清

町内における安全なまちづくり対策として、街路灯の設置をしているが、まだまだ自転車通行や歩行者が暗いと感じる箇所がある。どのように事業を進めているか。

A 総務課長



遊休ハウスの再利用

遊休ハウスの再利用について

農業基盤整備事業について

中越 計清議員

4カ所実施されているが、今後は事業に取り組む農家とJA、県農業振興センター、行政と協議をし、本町の特産物である作目の推進に向けて取り組むべきである。

A 産業振興課長

ご質問の雨よけハウスの再利用については別の補助金を実施している。

今後新たな農作物の栽培に取り組んでいくため、関係機関と一緒に取り組み、どういったことができるのかということも検討し、農業振興を図っていきたいと考えている。

雨よけハウス再利用への補助金は?

西川 豊正議員



生涯学習費の各種団体
補助金について

Q

西川 豊正

町内各種団体への補助金について、活動を把握されたうえで団体への適正な補助をお願いしたい。

A 調査する。

生涯学習課長

人材育成に関する
教育への投資について

Q

西川 慶男

目指す人材育成への投資は必要と考えるが、現在どのような姿勢で取り組んでいるのか。

A 教育長

教育予算については、毎年多額の予算計上をいただいている。それに見合う費用対効果に対する検証に難しさを感じているところであります。教育基本計画を

下元 秀俊議員

奖学資金貸付の返済期間検討の進捗状況は?



下元
秀俊議員

新型コロナウイルス感染症の影響により中止され、3年ぶりの開催となつた龍馬脱藩マラソン大会。曇り空ではありましたが暑すぎない抜群のマラソン日和となりました。

参加された皆さん、樺原の秋を満喫いただけたでしょうか。そしてスタッフの皆さん、本当に疲れ様でした。

3年ぶりに開催された 龍馬脱藩マラソン大会



3年ぶりに開催された 龍馬脱藩マラソン大会

Q

西川 豊正

町内各種団体への補助金について、活動を把握されたうえで団体への適正な補助をお願いしたい。

A 調査する。

生涯学習課長

人材育成に関する
教育への投資について

Q

西川 慶男

目指す人材育成への投資は必要と考えるが、現在どのような姿勢で取り組んでいるのか。

A 教育長

教育予算については、毎年多額の予算計上をいただいている。それに見合う費用対効果に対する検証に難しさを感じているところであります。教育基本計画を

下元 秀俊議員

奖学資金貸付の返済期間検討の進捗状況は?

下元
秀俊議員



下元
秀俊議員

新型コロナウイルス感染症の影響により中止され、3年ぶりの開催となつた龍馬脱藩マラソン大会。曇り空ではありましたが暑すぎない抜群のマラソン日和となりました。

参加された皆さん、樺原の秋を満喫いただけたでしょうか。そしてスタッフの皆さん、本当に疲れ様でした。

3年ぶりに開催された 龍馬脱藩マラソン大会



9月
定例会
(議案審議)

1

町民の安心安全に応える補正予算を賛成多数で可決

一般会計補正予算（第2号）

企業版ふるさと納税を活用した高知大学との連携事業に係る委託料及び梼原町内で開催するシンポジウムに対する補助金1千300万円の増額、民生費で、保健福祉支援センターのエレベーター耐震工事等の追加に伴う国保会計繰出金186万4千円の増額、商工費では、本県出身の植物学者牧野富太郎博士をモデルとしたNHK連続テレビ小説「らんまん」が令和5年春から放送されることをきっかけに県内市町村が一体となって博士ゆかりの地や草花の群生地などを生かした「草花体感フィールド」を整備、活動しながら集客による稼ぐ仕組みと観光資源の磨き上げを目指すものとして総額1億445万円の増額他、その総額を68億4千32万1千円としようとするもの。

可
決賛成
多数

Q

高知大学と連携した交流促進事業について
その内容を問う

A

まちづくり推進課長

下元 秀俊

本町との連携事業で、梼原高校生教育推進と脱炭素先行地域に認定を受けて来年3月頃に高知大学主催でシンポジウムを開催する予定である。詳細は今後詰めていく。

建築資材等の高騰による住家防災対策事業等の補助金の改定について、現在建築資材等が高騰しており、補助事業の事業費の引き上げについてどう考えるか。

Q

下元 秀俊

環境整備課長

A

労務単価、資材単価ともに1・5倍から2倍に高騰している。今後もこの傾向が強いとみており補助金の増額について今後内部調整をしあげ討する。

Q

国道440号線沿いの歩道にあるベンチは、老朽化しているように見受けられる。一部は苔などもついており見た目が悪く、本町の文化にそぐわない。いったん回収して修繕をしてはどうか。

A

産業振興課長

下元 秀俊

全箇所調査して対応する。また歩道についてもオープンカフェに使えないかとの提案もあり今後検討していく。

A

Q

下元 秀俊

産業振興課長

キジグルメなどイベントも予想されるが、産業振興という観点から飲食店等で活用できる町内バスポートなど検討してみてはどうか。

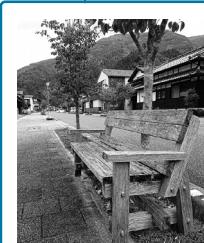
A

Q

下元 秀俊

産業振興課長

昨年のGO TO EATはコロナの影響もあり思うような成果が得られなかつた。今後は商工会、観光協会とも検討して取り組みを進めていきたい。



国道440号線沿いに設置された木製ベンチ

令和3年度樋原町各会計
歳入歳出決算の認定について

8月29日付をもって「審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、関係法令に基づき適正に処理されており、その計数は正確であり、予算の執行についても適正に行われているものと認められた。また、基金の運用状況についても計数は正確であり、設置の目的に沿つて適正に運営管理されているものと認められた。」との意見書をいただいたので認定をお願いしようとするもの。

認定
全員賛成

2 その他

樋原町まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について
企業版ふるさと納税制度による企業からの寄付金を適正に管理することを目的として、地域再生法第5条第4項第2号に規定する、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関し、基金を設置するため、地方自治法第241条の規定に基づき制定しようとするもの。

可決
全員賛成

昭和32年2月28日付で四国森林管理局と公有林野等官行造林地契約を締結し、町有地に造林された官行造林地の立木について、森林の適正な保全及び良質な水源の確保に資することを目的とし、国の持分を買い取ることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決をお願いしようとするもの。

否決
賛成少数

職員の育児休業等に関する
条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

可決
全員賛成

固定資産税の課税免除に関する
条例の一部改正について

租税特別措置法及び租税特別措置法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

可決
全員賛成

財産の取得について



財産取得の対象となっている官公造林地の立木

土釜 清

Q 分収歩合はどうか。また金額が高いのではないか。

A

森林の文化創造推進課長
分収率は五分五分であり、金額について
は国の基準に従つて算定している。

Q

土釜 清
森林の文化創造推進課長
部落分収等を買うのが先ではないか。

A
買収と競売を含めて解除をしている。

Q

中越 計清

山林全体の1ha当たりの金額が高すぎるのはないか。現地には作業道も開設され、専門家の方々が調査しているのか。また金額の算出の根拠の説明を。

A

森林の文化創造推進課長

作業道は隣接地までは通つており、その作業道を使って搬出するという伐採計画を立てて積算されている。調査は森林管理署職員、積算を担当する本町の担当職員を含めて現地の確認を行い、搬出条件等も検討しており、材積は航空レーザー解析データ及び現地確認も行い判断している。単価は国の積算基準に従つて積算されている。今後伐期が来た森林を間伐等の手入れをしながら将来に向かつてしっかりと機能を發揮していくような状態にしていくというのがこれから森林づくりであると考える。

中越 計清

データ等も含め詳細な調査をし、検討の上での金額であると理解した。今後間伐等健全な森林づくりを行い、水源地となるよう取り組んでいくべきである。

Q

西川 慶男

国の持ち分である町有地に造林された官行造林地の立木について、購入の目的及び今後の利活用は。

A

森林の文化創造推進課長

分取造林の処分について令和2年に20ha、令和3年には40ha、令和4年は70haまで処分を進めている。処分する方法は二つ。一つ目は競売にかけ木を伐りその収入を分取する。二つ目は分取の権利を買い契約を解除する方法。権利を買うにしても財源が必要となってくる。町有林の間伐や企業の皆さまからの支援をいただきながら間伐を促進し町有林の原木を売却し、財源の確保を行い、権利を買つていく。

町長

A

令和2年度には森林の文化創造推進課を立ち上げ、その中で分取造林の分取権の買取なども進めている。林業に従事している方々の人口構成や林業に従事する可能性のある方々の人材育成に取り組みながら、様々な形で森を活用していくようにしていきたいと考えている。

副町長

Q

反対討論

質問と答弁が噛み合っていない。時間を取つて慎重に議論すべきである。

A

下元 秀俊

論点である買取価格については、住民に説明責任が果たせないことから反対である。

高知県広域食肉センター事務組合規約の変更について

令和5年度末の解散を予定している高知県広域食肉センター事務組合の規約を変更することについて、地方自治法第290条の規定に基づき、議会の議決をお願いしようとするもの。

3 報告事項

可	決
全員賛成	

- 令和3年度橋原町健全化判断比率について
- 令和3年度橋原町資金不足比率について
- 一般社団法人津野山畜産公社の経営状況の説明書の提出について

ことが皆さんにとつて望まれてきた姿ではなかつたかと思う。そのためにも、財源も必要であり、財源を循環させながら購入を行い事業を進めていくことが大事である。

ことが皆さんにとつて望まれてきた姿ではなかつたかと思う。そのためにも、財源も必要であり、財源を循環させながら購入を行い事業を進めていくことが大事である。

議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



9月 定例会(第365回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	5	6	7	8
			森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩龜	中越計清	西川慶男
第40号	令和4年度高知県高岡郡梼原町一般会計補正予算（第2号） 総額を68億4千32万1千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	—
第41号	令和4年度高知県高岡郡梼原町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 総額を5億5千608万円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	—
第42号	令和4年度高知県高岡郡梼原町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 総額を6億68万9千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	—
第43号	令和4年度高知県高岡郡梼原町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 総額を7千669万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	—
第44号	令和3年度梼原町各会計歳入歳出決算の認定について 一般会計他10特別会計及び病院事業会計の決算	可決	○	○	○	○	—	○	—
第45号	梼原町まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	—	○	—
第46号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	認定	○	○	○	○	—	○	—
第47号	固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	—
第48号	財産の取得について	否決	×	×	×	×	—	○	—
第49号	高知県広域食肉センター事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	—	○	—

閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、12月定例会までの閉会中に、
次の事項を調査します。

- 議会運営委員会 → 12月定例会の運営について
- 総務教育厚生常任委員会 → 教育・福祉について
- 産業建設常任委員会 → 産業振興について
- 議会広報編集委員会 → 議会広報の発行について

大阪市鶴見区
河野 州彦 様
高知市
西村 寛良 様

この度、次の方から
「議会だより四万十源流」
に対し寄付をいただきまし
た。紙面をもつてお礼と
ご報告を申し上げます。

寄付のお礼

一般質問

下元 秀俊 議員

「集活センターは地域の要、伴走支援を！」



町長



「全面的に支援し、
ともに取り組んでいく」

集落活動センターの 運営について

集落活動センターは開設以

来、地域の課題解決にむけそ
れぞれ特色ある事業に取り組
み、地域で暮らし続けたいと
いう住民の願いをかなえ、地
域で生きる仕組みづくりに取
り組んできた。ガソリンスタン
ドの経営、レストランの運営、
加工品の製造販売、宿泊業、
配食サービスや見守り活動と
住民の不安の解消や課題の解
決に取り組んできている。

そして、その役割は今後益々
重要で不可欠のものになって
きている。

Q 開設以来10年余りが経
過している。各センター
の課題の整理と改善への取り
組みが必要だと考える。とく
に、地域おこし協力隊の採用
など人材の確保が重要である
と考える。考え方を問う。

A

副町長

総合と自立を基本に行政も地
域に寄り添い協働で進めてき
た。当初は高知ふるさと応援
隊の制度を活用し集落活動セ
ンターのサポートとして活動

頂いた。現在は、集落活動セ
ンターの意向もあり集落支援
員制度に移行して現在7名が
活動している。

Q キジ、アメゴ、ジビエな
どそれぞれ経済事業に
も取り組んでおり、地域の經
済や雇用創出など大いに期待
もする。このような事業は専
門性を兼ね備えた人材の確保
が欠かせない。

自立を目指して5年後10年
後と事業を継続していくうえ
では、「人・モノ・金」とい
われる経営資源に加えて情報
において脆弱な基盤である。
課題を克服し成長していくう
えで物心両面での伴走支援が
欠かせない。考え方を問う。

A

町長

専門性をもった人材の確保は
難しいことから、県や企業、関
係者とも協力いただき引き続
きしっかりとサポートしていく。

うことも考えてみてはどう
か。考え方を問う。

A

副町長

OBを使ってもらうことは
集落活動センターと役場の連
携も図れるという面もある。

人材の面については連絡協議
会で議論していただきよりよ
い方向に進めていきたい。

Q 専門的な人材の確保も含
めて、協議をしながらしつか
りと取り組んでいく。

産業振興について

OBを使つてもらうこととは
集落活動センターと役場の連
携も図れるという面もある。

Q 現在、新たな道の駅の
開設準備に実証試験を行
っているが、出荷販売手数
料は20%であるが、あらため
て事業がスタートしたところ
である。一定期間手数料の減
額による出荷者への応援を検
討できないか。

A

産業振興課長

手数料の減額は低く抑え
られている状況でもある。行
政に決定権はないが9月には
実証実験のデータができる。そ
の結果を検証していく。

A

町長

行政による商品の運搬の実証実験が
行われている。9月に実証実験のデー
タが出され、結果を検証していく。



町道の維持管理について

Q 集落によっては道の維
持管理が非常に難しく
なってきてている。これまで、
継続して地域で取り組んで
きたことであるが、高齢や
担い手減少による人手不足
で作業ができなくなつた。維
持管理チームや集落活動セ
ンターにて代行していくこと
を検討してもらいたい。

A

環境整備課長

員が続いており難しい状況で
ある。各集落のご協力もいた
だくことも必要。集落活動
センターについては、種々の事
業にも取り組んでいることか
ら集落活動センターの代表も
交えて検討していく。

委員會報告

産業建設常任委員長 西川 豊正

構成
委員

副委員長 中越清秀
委員員下元俊岩
委員員市川龜

「職員は地域に出向き 積極的な支援を！」



おちめん営農組合 での聞き取り調査

調査の目的

農業を取り巻く現状は、

不足の減少、耕作放棄地の増加に加え、長びくコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵略のあおりを受け世界的な食料危機や物価の高騰、農業資材、肥料、農薬、原油価格等の高騰が、生産農家の大きな負担となり支援対策が取りざたされてい

用など、現場の実態について聴き取り調査を行い、地域農業存続のための課題解決に向けて調査を行うものである。

調査の内容

かねてより課題であつた所有者不明土地の解消に向けて不動産に関するルールが大きく変わり、令和3年、民法・不動産登記法が改正され、令和6年4月1日に相続登記の義務化が施行される。農地としての名義変更がされた農地が本制度の対象となつていて、また、名義変更の手続きや変更申請状況、各区の集落活動センターでの活動や直接支払制度基金の有効な運用についての説明を受けた。

令和3年度農業委員会による農地パトロールでは、町全体面積613ha内耕作中292ha、遊休農地26ha、荒廃農地295ha、荒廃農地比率48・2%が遊

休荒廃農地となつてゐる。農地の名義変更の件数は（農地法第3条申請）平成30年度が5件、令和元年度が16件（前年比320%）

おとね

今回は越知面区の調査となつたが、様々な補助事業の導入や集落支援員の活

用、営農組織の立ち上げ等と同時に、地域の農地と農業を将来に向けてどのように進めていくのかそれぞれ制度の参加者、営農組合、集落活動センターが戦略的に連携するとともに、行政も積極的に参画して、支援の在り方や仕組みづくり、人材の確保と育成など現場に寄り添った支援をしていかなければ課題の解決策は見いだせない。農家との受委託契約による耕作の継続や雇用の創出、耕作放棄地の宅地化による移住定住策など、地域を繋ぐ解決策を模索してきたが、多くの課題が山積している。

議会を見に来て下さい

議会では住民の皆さんができるだけ参加しやすいようにいろいろな配慮をしています。議事録ができるまでに一定期間がかかるためぜひ傍聴か映像配信をご利用ください。



開会中いつでもだれでも傍聴することができます。



傍聴に入るのをためらう場合は隣の部屋から映像配信を視聴できます。また、家でご自分の携帯電話やタブレットからも視聴ができます。

あとがき

今年も残り3ヶ月をきり、秋の気配を感じられてきました。台風14号による倒木、雨による被害も多く見受けられ、改めて自然の猛威には驚かされます。被災された方には、衷心よりお見舞い申し上げます。

また、新型コロナウ

イルス感染症(第7波)においては少し落ち着いてきましたが、今後も感染防止の徹底をお願いします。

今年の冬は、厳しい寒さも予想されていますので、身体には充分気をつけてお過ごしください。

土金 清記



議場はこうして作られる

定例会や臨時会が行われている議場は実は普段は会議室として使用されています。議場はこうして議会の前に設営されています。



3 4 5 議長席は普段は壁の中へ収納しているが議会の前には電動で取り出します

